

# パートナー企業選定の経過

## サウンディング型 市場調査

民間開発事業者の  
参画意向と条件等を  
確認

3月22日～5月7日

### 市場調査（対話）の総括

- ① 参加事業者3社から高い関心が示され、うち2社からは産業・商業双方の集積を図ることを含め、事業参画の検討意向が示されました。
- ② エリア全体の一体開発が望ましいという見解を示し、複数の連携企業候補との具体的な事業展開を検討している事業者が1社ありました。

## パートナー企業 (民間開発事業者) 公募・選定

一緒に開発を進めようと  
する民間開発事業者から  
提案を受け、選定する

5月26日～6月3日  
7月30日

参加表明受付（参加表明事業者：1社）  
審査委員会（提案審査）

パートナー企業として  
戸田建設株式会社を選定

# パートナー企業について

## 戸田建設株式会社（本社：東京）

---

本 社 〒104-0032 東京都中央区八丁堀二丁目8番5号

---

創 業 1881年(明治14年)1月5日

---

設 立 1936年(昭和11年)7月10日

---

資 本 金 230億円

---

従業員数 5,463名(連結)

---

事業内容

- ①建築一式工事、土木一式工事等に関する調査、企画、設計、監理、施工、その総合的エンジニアリングおよびコンサルティング業務
- ②地域開発、都市開発等に関する調査、企画、設計、監理、施工、その総合的エンジニアリングおよびコンサルティング業務
- ③不動産の売買、賃貸、仲介、管理および鑑定
- ④再生可能エネルギー等による発電事業等

---

数多くの建物やインフラの構築に加え、農業6次産業化や官民連携など、新たな取り組みとして土地活用から投資開発まで総合的な支援を行っています。

国内で浮体式洋上風力発電に早くから取り組み、国内初の商用運転を開始したほか、太陽光発電所等の建設工事を数多く手がけるなど、再生可能エネルギー分野にも積極的に取り組んでいます。

また、国際的な環境イニシアチブ「RE100」に建設業界で初めて加盟し、建設業を通じ、環境保全活動を展開しています。

## まちづくりコンセプト

# Echizen-Takefu Innovation Valley

（越前たけふイノベーションバレー）

越前市の歴史や伝統、豊かな自然環境や文化を活かし、様々なイノベーションを生み出す機能や仕組みにより一人ひとりが快適に働き、暮らし続けられる、社会の変化に対応できる持続可能なまち

## まち全体のイメージ(フォレストシティ&越前市版スマートシティの実現イメージ)

越前たけふ駅から当地区を望むイメージパース



街区イメージ



## 導入機能のイメージ

成長領域を担う産業やスマートな暮らしを実現する機能を集積

主な機能(施設)の例

### 生産施設、研究開発施設

製造企業のグローバル生産・供給体制を牽引する重要な国内拠点としてのマザー工場やR&Dセンター



### 商業施設

市民に開かれた公共的空間、市民生活を支える生活インフラとしての大型商業施設



### オープンイノベーションセンター

産学官金と市民が参加するプラットフォーム事業の中核施設



様々な機能(施設)のハブとして成長領域の産業育成や市民・来街者のQoL向上を担う

## スマートシティをつくる技術基盤

近年の社会背景等を踏まえ、先端企業が求める基盤整備により、産業のイノベーションを支える

【グローバル企業が求める立地環境】

脱炭素 … RE100  
データ利活用 … 5G/6G  
アクセスの利便性 … MaaS



実証実験  
～実装の場

## 事業推進のイメージ

進出企業の早期進出ニーズに対応し、スピーディーな事業化に向け検討を推進

2021年  
8月中旬

基本協定  
事業実施計画  
作成業務

- ・地権者調整
- ・スマートシティ検討
- ・事業スキーム検討
- ・事業計画検討
- ・企業連携

手続き・基盤整備（スマートインフラ等）・施設建設

コア企業建設

サプライヤー・イノベーション建設

※工程は一例であり、段階的な開発を想定